

## CSF 対策について

令和2年1月30日  
農林水産部畜産課

## 1 CSFについて

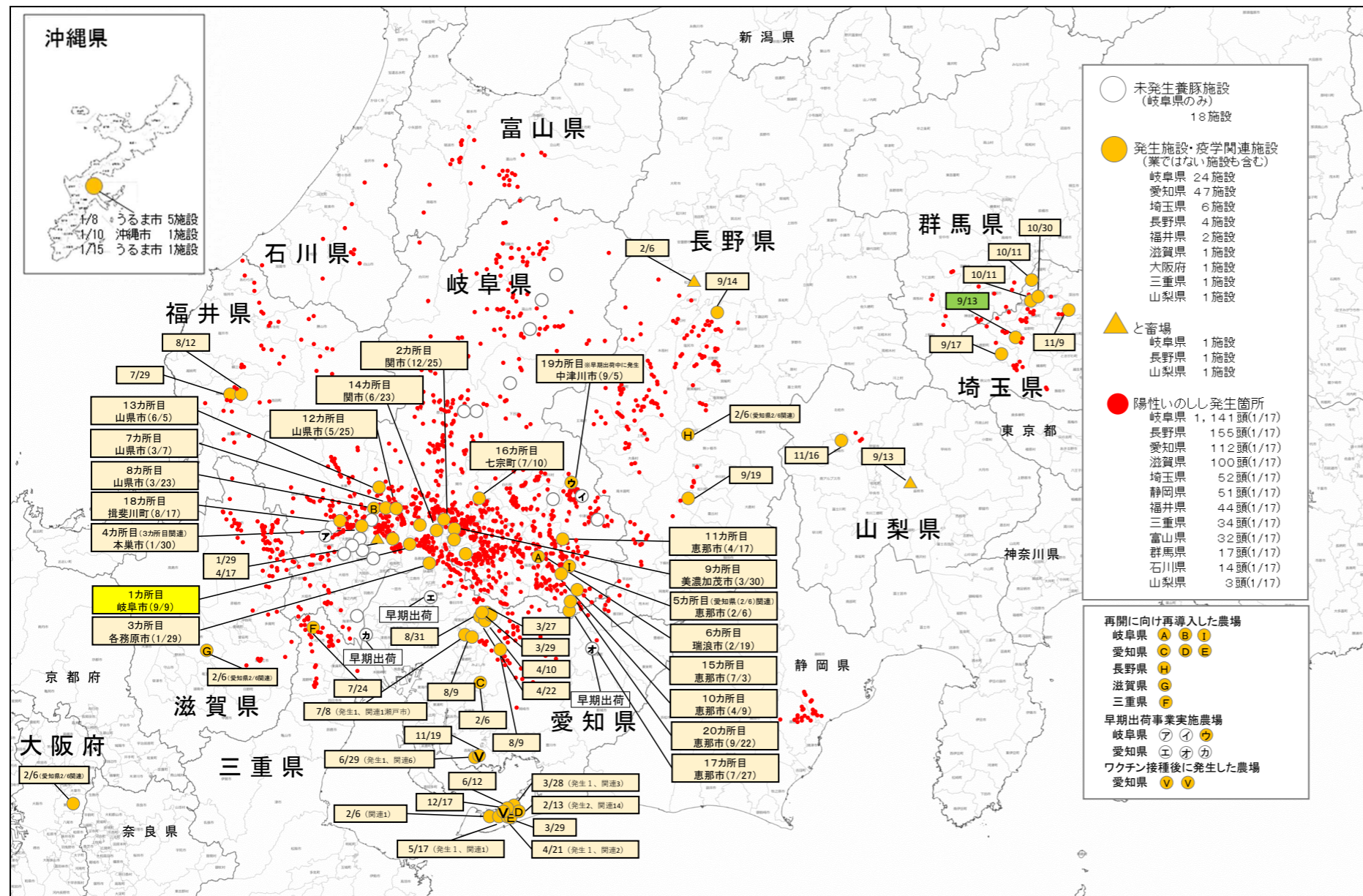
- 豚、いのししの熱性伝染病で、ヒトには感染しない
- 強い伝染力と高い致死率が特徴であり、治療法は無く、発生した場合影響が甚大
- CSFが発生した農場では、飼養されている豚等を対象に全頭殺処分や消毒作業など防疫措置を行う



国提供

## 2 CSFの発生状況について 令和2年1月27日現在

○平成19年に清浄化されたが、平成30年9月に26年ぶりに岐阜県で発生。野生いのしし間で感染が拡大し、その後中部地方を中心に養豚場での発生が継続。令和元年9月には埼玉県で、令和2年1月には沖縄県で発生が確認された。



## 3 県の対策について (令和元年9月の埼玉県発生以降)

## 【発生予防対策】

- (1) 養豚農家への衛生管理の徹底を指示するとともに、巡回による指導を強化
- (2) 令和元年9月24日～10月7日まで、県が備蓄している農場消毒用の消石灰を緊急に放出し、養豚農家に対し配付
- (3) 養豚農場へのいのしし侵入防止対策として、防護柵の設置を支援  
＜ASF侵入防止緊急支援事業 12月補正＞  
負担割合：国1/2、県1/4、農家1/4
- (4) 令和元年11月1日から野生いのししの捕獲重点エリアを設定し、県による捕獲及びサーベイランスを実施

## 【まん延防止対策】

- (1) 防疫措置に必要なとなる人員の確保や、防護服や消毒薬など必要な物資を備蓄
- (2) 発生を想定した防疫演習の実施
  - ・令和元年9月24日 生産者向けの机上演習
  - ・令和元年10月29日 県職員向けの実地演習

## 【予防的ワクチンの接種】

- (1) 国への要望活動
  - ・令和元年9月26日 豚コレラ及びアフリカ豚コレラ対策に関する要望書を提出
  - ・令和元年11月3日 台風19号等被害現地調査・意見交換の際に大臣へ要望
  - ・令和元年11月25日 関東知事会の共同提案として国へ提出
- (2) ワクチン接種推奨地域(県)の指定状況
  - ・令和元年10月15日 群馬、埼玉、富山、石川、福井、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀
  - ・令和元年10月18日 静岡
  - ・令和元年10月31日 山梨
- (3) 野生いのししの移動距離を考慮した接種地域の拡大
  - ・令和元年12月20日に千葉県を含む8都府県がワクチン接種推奨地域に指定された  
＜新たに指定された8都府県＞  
茨城、栃木、千葉、東京、神奈川、新潟、京都、奈良
  - ・現在ワクチン接種プログラムを作成中
  - ・令和2年2月以降に県内飼養豚へ接種する予定